

# 資料 17

# 広域流域関係都道府県における関連事業の整備状況

広域流域	関係都道府県	関連事業の整備状況 (関係都道府県における森林整備の方針等)	備考
天塩川 渡島・江別川	北海道	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の特性に応じた森林の整備及び保全の確保のため、重視すべき機能に応じた森林の整備、森林所有者等による森林の適切な管理、水源涵養など保安林機能の増進、多様な生態系を有する森林や自然環境と調和した身近な森林の保全を推進(複層林化や針広混交林化等による多様な森林への誘導、伐期の長期化、群状や帯状の小面積の伐採、間伐等の保育を適切に実施、治山事業による森林の整備・保全)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道森林づくり基本計画(平成25年3月)</li> </ul>
米代・雄物川	秋田県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スギ人工林について(適切な森林整備・混交林等への誘導)</li> <li>・広葉樹林について(広葉樹林の保全・失われた天然林等の再生・多様な広葉樹の植樹活動の推進・民有林「緑の回廊」の維持管理)</li> <li>・望ましい森林への着実な誘導(森林計画制度による誘導・森林所有者に対する助成・公的な森林整備・国有林との連携)</li> <li>・松くい虫・ナラ枯れ対策の推進(松くい虫対策の推進・松くい虫防除への住民参加・ナラ枯れ対策の推進・研究開発の促進)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋田県「水と緑」の基本計画(平成26年3月)</li> </ul>
	福島県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林吸収量を確保するために講じる措置</li> <li>・健全な森林整備の推進(地域森林計画に基づき「水土保全林」、「森林と人との共生林」、「資源の循環林」それぞれの重視すべき森林の機能に応じて長伐期施業や複層林施業など適切な施業体系による森林整備を推進)</li> <li>・保安林等の適切な管理・保全等の推進(水源のかん養、土砂流出防止など公益的機能の発揮のために重要な森林について、計画的な保安林の指定を推進)等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福島県森林吸収量確保推進計画(平成20年12月)</li> </ul>
那賀川	茨城県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本理念：緑の循環システムによる林業・木材産業の成長産業化と機能豊かな森林づくりの推進</li> <li>・機能豊かな森林づくりの推進(森林の公益的機能の強化と国土保全対策・県民参加の森づくりと森林環境教育等の推進)</li> <li>・県産木材の利用促進と木材産業の発展(いばらき木づかい運動の展開と木材の有効利用の促進・木材需要に対応した安定供給体制の整備)</li> <li>・自立する林業と山村の振興(持続可能な林業経営の推進・低コスト化による林業生産活動の推進と森林の若返り・特用林産物の生産拡大と山村の振興)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茨城県森林・業振興計画2016～2020(平成28年3月)</li> </ul>
	栃木県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・林業としての採算性や森林に対する県民の温暖化防止や災害防止などの要請等を勘案して、森林を「循環の森」、「環境の森」、「恵みの森」に分けて施策の展開を図る。</li> <li>○循環の森：林業経営が行われている人工林において、森林資源の循環利用を進めるため、林業・木材産業を活性化(新たな経営戦略による素材生産力の強化、需要を喚起する製品生産力の向上・マーケットを切り拓く新たな需要の創造・被害に強いとちぎづくり)</li> <li>○環境の森：水源涵養などの公益的機能を高度に発揮させるため、地域の特性や課題に応じた多様な森づくりを推進(地域の特性や課題に応じた多様な環境の森づくり、次世代につながる元気な森づくり)</li> <li>○恵みの森：震災からの復興に加え、しいたけをはじめとする特用林産物等の「もりの恵み」の生産振興と販売促進を図る(きのこブランド復興(特用林産物の東日本大震災からの復興)・競争力のある産地づくり)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・とちぎ森林創生ビジョン(平成28年3月)</li> </ul>
	富山県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な森林づくりの推進</li> <li>○里山林：地域ニーズを反映した多様な里山林の整備</li> <li>○混交林：針葉樹と広葉樹が混交する混交林の整備</li> <li>○保全林：健全な管理と公益的機能の高度発揮</li> <li>○生産林：健全な生産林の育成・森林経営の確立に向けた生産基礎の整備</li> <li>・県産材の安定供給体制の整備(県産材の効率的な生産・流通体制の整備)</li> <li>・森林の適正な管理と保全(保安林の適正な管理と林地の保全・森林被害対策の推進)等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富山県森林・林業振興計画H24～H33(平成28年4月)</li> </ul>
神通・庄川	岐阜県	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本理念：揺るぎない長期的展望と県民協働による持続可能な森林づくり</li> <li>・県民の生命・財産と良好な環境を守る、健全で豊かな森林づくり</li> <li>・森林資源の循環利用を通じて活用ある地域社会を実現する、林業及び木材産業の振興</li> <li>○恵みの森：森林づくりを支える、人づくり及び仕組みづくり</li> <li>○社会全体の森林づくり：環境を重視した、森林を守って活かす取り組み</li> <li>○生きた森林づくり(林業経営の合理化の推進・優良県産材の供給対策)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第二期岐阜県森林づくり基本計画(平成24年3月)</li> </ul>

# 広域流域関係都道府県における関連事業の整備状況

広域流域	関係都道府県	関連事業の整備状況 (関係都道府県における森林整備の方針等)	備考
宮川	三重県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林の多面的機能の発揮のため、多様な森林整備を進めるとともに、森林の保全に必要な施設等の整備を推進</li> <li>・林業及び木材産業等を活性化するため、生産から流通・加工に至る連携の強化等を推進</li> <li>・持続可能な森林経営のもとで活力ある木材生産が行われるよう、多様な人材の育成・確保等を推進</li> <li>・県産材の住宅建築や公共建築、木質バイオマス燃料等への積極的な利用を推進</li> <li>・「第1期対策」を基本的に継続しつつ、人工林の再度間伐、里山林の再生の必要性や、森林ボランティア活動の活性化などの新たな課題に対応するため内容を拡充し、経済林としての再生を進めるとともに、森林の持つ公益的機能の高度発揮を図るため、「公的関与による森林管理の徹底」「多様な担い手による森づくり活動の推進」を基本方針として「第2期対策」を推進</li> <li>○「公的関与による森林管理の徹底」</li> <li>○「森林管理100%作戦」推進事業（人工林対策）〔拡充〕（間伐が必要な60年生以下のスギ・ヒノキ人工林について、市町と連携した公的関与の充実ににより、間伐実施による森林管理の徹底を図る）等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三重の森林づくり基本計画2012（平成24年3月）</li> <li>・新ひょうごの森づくり（第2期対策）（平成24年3月）</li> </ul>
円山・千代川	兵庫県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林・林業・木材産業の将来をイメージし、そのために県民、森林・林業・木材産業関係者、行政等が取り組む必要な施策を3つの観点「森が活きる」「木が生きる」「人が活きる」から整理</li> <li>○森が活きる：持続可能な森林経営の確立（持続可能な森林経営を確立し、森林の有する公益的機能を持続的に発揮（森を守り育てる林業の低コスト化を推進・県産材の安定供給や流通の合理化を推進・森林資源の平準化を促進））等</li> <li>○木が活きる：県産材の利用拡大（県産材製品の開発・供給・利用を推進）等</li> <li>○人が活きる：森林を支える人づくり（林業を支える担い手の確保・育成や低コスト林業に向けた人材・林業事業者の育成・強化を図る）等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・とっとり森と緑の産業ビジョン（平成26年5月）</li> </ul>
	鳥取県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新次元林業の展開</li> <li>1 林業及び木材産業の振興 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成36年度の「県産材生産量の4倍増（60万m3）」の実現を図るため、計画的な主伐を推進する組織体制の整備、主伐に対応した高性能林業機械の導入・改良や路網の整備、木材集積と選別・貯木機能を有する土場の整備などに取り組み、生産性の向上と県産材生産量の増大を図る</li> <li>・植林の負担を軽減し、主伐及び主伐後の確実な更新（植林）を推進するため、シカ食害対策や低コスト造林技術の確立と実用化に取り組み</li> <li>等</li> <li>2 優良な生産基盤の整備及び保全 <ul style="list-style-type: none"> <li>・高性能林業機械の効率的な稼働による林業生産性の向上を図るため、基幹となる林道等に加え、林業専用道、森林作業道を有効に組み合わせた複合的な林内路網整備を推進</li> <li>・保安林の整備拡充を進めるとともに、水源の涵養、土砂の流出・崩壊防止など公益的機能の高い保安林の維持増進を図るための施策を実施</li> <li>等</li> <li>3 環境に配慮した林業の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・間伐や抜き伐りを進め、下層植生を増やし、長伐期林・複層林・針広混交林へ誘導するとともに、広葉樹の植栽や保育を行う多様な森林づくりを促進</li> <li>等</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>・持続的で多様な健全林の整備（更なる間伐の推進や立地条件に応じた施肥への誘導、適切な更新・保育施策の実施、安全で豊かな県土の形成、森林被害対策の強化）</li> <li>・効率的かつ安定的な林業経営の確立（路網等生産基盤の整備（路網整備・高性能林業機械の導入）、施業集約化の推進（面的管理の拡充）等）</li> </ul> </li></ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・徳島県食料・農林水産業・農山漁村基本計画（平成25年3月）</li> </ul>
吉野・仁淀川	徳島県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原木生産のさらなる拡大（森の工場や原木の安定供給システムの構築、皆伐の促進などによる生産性の向上により、原木の増産を図る。また、皆伐の増加が見込まれることから、コンテナ苗の生産体制の強化や再造林の支援などに取り組み、持続可能な森林づくりを進める。）</li> <li>・加工体制の強化（消費者のニーズに対応した競争力の高い加工事業体を育成するため、製材工場の加工力の強化を推進するとともに、大断面集成材やCLTパネルなどの付加価値の高い製品を製造する高次加工施設の整備を進めることで、加工施設を核とした林業・木材産業クラスターの形成による、所得の向上と雇用の増加につなげる。）</li> <li>・流通・販売体制の確立（県外の消費地をターゲットとした外販活動を展開するため、関東や関西などに設置している土佐材の流通拠点の活用や、土佐材ペーパー企業との連携強化を図る。また、トレーラー等による低コスト・定期輸送の取り組みを進めいくほか、海外への販売促進にも挑戦する。）</li> <li>・木材需要の拡大（店舗や事務所といった住宅と比べて木造率が低い非住宅建築物の木造化の推進やCLTの普及により、飛躍的な木材需要の拡大を図る。また、木質バイオマスについて、木質ペレット等を県内需要者へ安定供給する取り組みや、農業用以外での幅広い利用を促進する。）</li> <li>・担い手の育成・確保（平成27年4月に開校した県立林業学校の充実・強化を図る。また、移住施策との連携や、小規模林業の活動を応援することにより、担い手の育成・確保を図る。）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・えひめ森林・林業振興プラン（平成28年3月）</li> <li>・第3期 高知県産業振興計画（平成28年3月）</li> </ul>